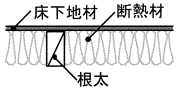
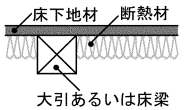
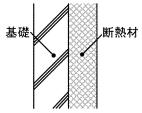
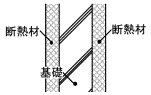
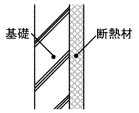
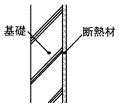
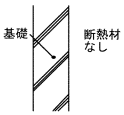
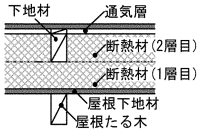
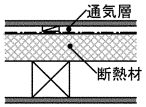
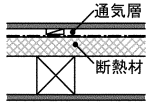
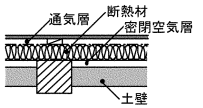
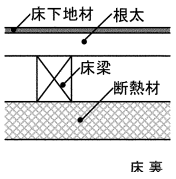
	0.48	床裏が外気に接しない場合であって、根太の間にRが2.4以上の断熱材（厚さ85ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.075以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
		床裏が外気に接しない場合であって、大引又は床梁の間にRが2.2以上の断熱材（厚さ75ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
		床裏が外気に接しない場合であって、大引又は床梁の間にRが2.4以上の断熱材（厚さ55ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.15以上の床下地材を用いた断熱構造とする場合	
基礎	0.37	鉄筋コンクリート造の基礎の外側又は内側にRが3.5以上の断熱材を設けた断熱構造の場合	
		鉄筋コンクリート造の基礎の両側に、合計してRが3.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造の場合	
	0.53	鉄筋コンクリート造の基礎の外側又は内側にRが1.7以上の断熱材を張り付けた断熱構造の場合	
	0.76	鉄筋コンクリート造の基礎の外側又は内側にRが0.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造の場合	
	1.80	無断熱の鉄筋コンクリート構造の場合	

1　各部位の日射熱取得率は、それぞれの熱貫流率の値に0.034を乗じることにより求められる。以下同じ。

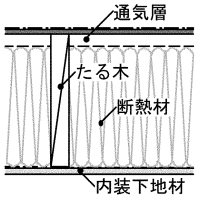
2　表中のRは熱抵抗値を示し、「単位は1ワットにつき平方メートル・度」とする。以下同じ。

3　一の住宅において複数の住宅の種類又は断熱材の施工法を採用している場合にあっては、それぞれの住宅の種類又は断熱材の施工法に応じた各部位の熱貫流率の値を用いることができるものとする。以下同じ。

別表第2

木造住宅　外張断熱工法の仕様例			
部位	熱貫流率（単位1平方メートル1度につきワット）	仕様の詳細	断面構成図
屋根	0.17	Rが0.075以上の屋根下地材等の上に、Rが6.3以上の断熱材を外張りした断熱構造とする場合	
	0.24	Rが0.075以上の屋根下地材等の上に、Rが4.4以上の断熱材を外張りした断熱構造とする場合	
外壁	0.35	軸組の外側にRが3.0以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
	0.53	軸組の外側にRが1.9以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
		軸組の外側にRが1.7以上の断熱材を張り付け、かつ、軸組の間に土壁（厚さ60ミリメートル以上）を設けた断熱構造とする場合	
床	0.24	床裏が外気に接する場合であって、床梁の下側にRが4.5以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
	0.34	床裏が外気に接する場合であって、床梁の下側にRが3.1以上の断熱材を張り付けた断熱構造とする場合	
基礎	木造住宅　充填断熱工法の仕様例と同様		

別表第3

枠組壁工法住宅　充填断熱工法の仕様例			
部位	熱貫流率（単位1平方メートル1度につきワット）	仕様の詳細	断面構成図
屋根	0.17	たるきの間にRが7.5以上の断熱材（厚さ265ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	
	0.24	たるきの間にRが5.2以上の断熱材（厚さ185ミリメートル以上）を充填し、かつ、Rが0.043以上の内装下地材を用いた断熱構造とする場合	